創世記２５章

レポーター　　マ

書記　　　　　五

【25章に入る前に24章のあらすじ】

アブラハムが僕にイサクの嫁探しを任せる→アブラハムの出身地に行ってぴったりの娘を見つける<引用：け兄のレジュメから>

【24章の復習】

・アブラハムの生まれ故郷ってどこだっけ？

　　S：ウル

・しもべはなぜ主人のももの下に手を入れたのだろうか？

　　五：割礼を表している。

・なぜカナン人の娘の中から嫁をもらわなかったのだろうか？

　　ツ：カナン人は異教徒だから。

【レポーターの感想】

・5節：全部イサクに譲っちゃっていいの？

・21節：リベカ、おまえもか。。

・25節：こんなん言っちゃっていいの？絶対意識しちゃうじゃん。

**個人的に思った25章のテーマは兄弟.相続**

【設問】

Q.なぜ側女の子供たちをケデム地方へ移住させたの？なぜイサクから遠ざけたの？

マ：サラによる制裁

T：イサクに全財産を譲ったから。

け：側女の子供がイサクの地位を脅かすことがないようにするため。

Q．（追加）8節「満ち足りて」とはどういう意味？そもそも満足とは？

　　ハ：満腹の時「満ち足りる」。一日の中で満足することが多い。

　　S：普段と違うことをして満足を感じる。

　　け：ある目標のために毎日頑張っていて、一日のノルマを達成してかつほどよく息抜きをしているとき、満足を感じる。

　　ツ：自分の目的が達成できたから満足（自分の子孫を残す）。

　　滝：念願が成就→神から言われたことを忠実に守った。

Q．（追加）信仰のなかでの満足とは？

　　ツ：信仰を持つ人のほうが満ち足りやすい。

　　T：満足とは自己完結のもの。

　　I：神様を信じないと「満ち足りる」ことがない。「満ち足りない」状態で「満ち足りる」には神が必要。

　　け：満足は主観的なもので、充実は客観的にもなりうる。

Q．8節、17節：先祖の列（新共同訳）、その民（新改訳）に加えられたとはどういうこと？

山本先生：その民に加えられたが原義。聖書で「「天国」という概念は出てきていない。

宮城県の在宅医療の番組で、死が近い老人には「お呼び」が来るという。医者はこの症状を幻覚などとみなして治療対象にしてしまいがちだが、この「お呼び」はよく起きることであり、死に往く人の死への覚悟が固まる。

終末医療における宗教者の必要性。在宅医療で可能であり、死を受け入れやすくなる。

牧師は死ぬ前の信者にも会いにいくし、それはとても大切なこと。

生者にとって天国とは、死者が自分達を待っている場所。

天国というものと同じくらい、「先祖の列に加えられる」という考えは生者にとってわかりやすい。

老人病院。もはや姥捨て山。現在の病院では治療困難な老人は病棟に置けず、老人病院に入院させなければいけない。

熱心な信者と、死ぬ直前に受洗を受ける人間は同じ待遇を受けるのか。これは中世から続く議論（中世の貴族は生きている間は好きに生き、死ぬ直前に改宗した）。

ギリシャ語でこの箇所は「日々が満ち足りて」となっている。

Q．エサウ・ヤコブに対するイメージを教えてください。

エサウ：

五：アウトドアな感じ。狩猟的な考え方で、世俗的な地位とかは必要としてない。

ハ：死ぬほど飢えていた。ヤコブが悪い。

ヤコブ：

I：リベカからの入知恵があったのでは？

マ：母親から愛されている。

Q.長子の権利とは？長子の権利を渡したことについてどう思う？

ハ：長子の権利はその人の祖先にも関係する大切なもの。

Q.なんで軽蔑したとわざわざかかれてるんだろ？

ツ：お腹いっぱいにならないから。飢え死に寸前の時に、神からの祝福よりも目の前の生を優先した。

SQ.あなたには兄弟がいますか？長子であれば（他の兄弟と比べて）特別だと感じたことがありますか？長子でなければ、長子うらやましい、ずるいなど感じたことはありますか？また長子に生まれたかったかなどなど？

S：長男は自由がきかない。次の子は自由にできていいな。

け：長男としての責任感に苛まれる。

マ：責任がある一方でお年玉が多い。

山本先生：戦前は長男最強。戦後人々がサラリーマンとなってからこの構図は崩れた。兄弟間の対立の消滅は戦後民主主義が生み出した産物。

＜参考＞　ケトラとの子孫　　　　　　　　　　　　　　　　イシュマエルの家系図

**アブラハム─ケトラ　　　　　　　　　　　　　　　　　　イシュマエル**

**｜━ジムラン　　　　　　　　　　　　　　　　　　｜━ネバヨト**

**｜━ヨクシャン　　　　　　　　　　　　　　　　　｜━ケダル**

**｜　　　｜━シェバ　　　　　　　　　　　　　　　｜━アドベエル**

**｜　　　｜━デダン　　　　　　　　　　　　　　　｜━ミブサム**

**｜　　　　　　｜━アシュル人　　　　　　　　　　｜━ミシュマ**

**｜　　　　　　｜━レトシム人　　　　　　　　　　｜━ドマ**

**｜　　　　　　｜━レウシム人　　　　　　　　　　｜━マサ**

**｜━メダン　　　　　　　　　　　　　　　　　　　｜━ハダド**

**｜━ミディアン　　　　　　　　　　　　　　　　　｜━テマ**

**｜　　　｜━エファ　　　　　　　　　　　　　　　｜━エトル**

**｜　　　｜━エフェル　　　　　　　　　　　　　　｜━ナフィシュ**

**｜　　　｜━ハノク　　　　　　　　　　　　　　　｜━ケデマ**

**｜　　　｜━アビダ**イサクの家系図

**｜　　　｜━エルダア　　　　　　　　　　　　　　イサクーリベカ**

**｜━イシュバク　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　｜━エサウ**

**｜━シュア　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　｜━ヤコブ**